

東田小学校学校運営協議会令和5年（2023年）度

2023年（令和5年）10月14日（土） 会長挨拶 23-RO-4

本日は本格的な秋の季節の到来で、ついこの間までの猛暑が嘘みたいです。

コロナ禍以来、第4回目の運動発表会を継続して開催できることは嬉しい限りで、また幸い秋晴れに恵まれての運動発表会が開催できることは慶賀すべきことです。

<運動発表会>という名称の運動会はなかなかすぐに馴染めないものがあります。

<運動会>という名称の行事は、わが人生を振り返るといろいろと思い出されます。

西田小学校で開催された1950年代の運動会が最初の運動会の思い出です。途中桃井第三小学校から西田小学校へ2年生時、転校したため記憶はあまり鮮明ではありませんが、運動場に飾られた万国旗と蓄音機の大きな軽やかな音楽、徒競走の時のピストルの合図と火薬の匂、白い運動場に書かれた石灰の白いライン、到着順に並ばされた旗の行列と景品（鉛筆とノート）そして白い運動パンツが鮮烈な印象として残っています。

特に戦時中に使用されていた万国旗の中に満州国の国旗があり、それが戦後使用されるときにGHQの指示により丸められていたこと（担任の先生の話）と日の丸の掲揚がまだ許されなかったことが思い出されます。（模型の飛行機には星条旗のマークを付けることが強制されていて、日の丸のマークは禁止でした。こどもながらに不快でした）

それでも運動会は親と兄弟、住んでいる地域の人々の楽しい行事でした。

サンフランシスコ平和条約締結後、通った東京都内の中学校、高等学校と運動会、体育祭と体験し、会社勤務してからも会社の職場の運動会が開催されて参加しました。

さらに地元の成田町会の運動会参加と運動会は楽しい行事で身近なものでした。

しかし今の<運動発表会>はコロナ禍以降<祭り行事>の色彩はなくなり、<体育科の学習成果の取り組み成果の発表>と【教育】の一環となってしまっていました。

それでも子供、学童にとっては初めて体験する<運動発表会>は親兄弟、祖父母の家族ぐるみの参加が無くても<楽しい運動会>の思い出として子供らの将来の人生に刻印されることでしょう。

以上 小原理一郎